

- ◆企画名 「関大生に読んでほしい本 100 選」
日 程 平成 26 年 6 月 2 日 (月) ～ 平成 27 年 6 月 1 日 (月)
場 所 関西大学千里山キャンパス構内
参加者数 10 名 (ピア・サポータ 7 名、研修生 3 名)
目 的

学生、特に 2015 年度の新入生へ本事業で作成する冊子を通して本に興味を持ってもらい、図書館へ足を運ぶためのきっかけをつくる。

内 容

学生から大学生の間に読んでおきたいおすすめの本、大学生活のためになるような本の紹介文を募り、それらをまとめた冊子を作成して配布する。募集は 2 期に分ける予定であったが、第 1 期募集 (H26/6/2(月)～7/31(木)) の際に 235 冊の応募があったために 1 期で募集を打ち切り、平成 26 年度秋学期より本の選定と冊子の作成作業に移行した。冊子は A5 サイズ/袋とじのものを 400 部作成し、平成 27 年 4 月より総合図書館内 1 階エントランスホール、2 階開架フロアカウンター前にて配布を行った。また、高槻キャンパス・高槻ミュージズキャンパス・堺キャンパスの図書館へ 3 部ずつ、合計 9 部送付した。

効 果

3 月 31 日に搬入を行い、5 月 1 日に完配した。KU コアラの新規メンバー募集ガイダンスの際、「この企画を知っている」「冊子を持っている」という学生が多かったと広報担当者から報告があった。このことから本企画は、大勢の学生の興味関心を惹きつけることに成功したと考えられる。また、高槻キャンパスで行われた父母会において、来館された 112 名の中で、カウンターに閲覧用として設置した本冊子を手にとる方が多く見受けられたとの報告が図書館スタッフよりあった。

改 善 点

当初から予算を抑えて手作業で行うことにしていたため、400 部は限度の部数であったが、配布終了後には冊子が欲しかったという学生が多数現れた。今後同様の本を紹介するペーパーを作成する際にはページ数を少なくする、ホッチキスを使わない二つ折り冊子にする等の工夫をして手間を減らし、より多くの部数を発行するようにしたい。また今回の応募冊数や完配までの期間、その他の効果を鑑みて、本企画のような本の紹介冊子を配布するという企画は、十分学生の興味関心を得ることが出来、予算をかける意義のある企画であると考えた。このことから、製本を外部に委託することも視野に入れて、より多くの利用者の手に届ける方法について考えたい。

冊子の形態に関して、サイズや厚み等は程よいが、横長よりも縦長の冊子のほうがよかったのではないかといった意見や、内容に関してはもっと学術書を多くするべきである、書名か著者名で五十音順に掲載されていたほうが探しやすい、ジャンルごとに分類して本を並べたほうがよかった等の意見があった。

感 想

本の募集、製本、配布まで全てが予想以上に素早く進んだ。特に本の書影を集める際や製本作業に多くのメンバーの協力が得られたことが大きい。KU コアラ内で行った企画のフィードバックでは、「KU コアラらしい企画であった」「似たような企画があってもよい」という意見があったため、今後は改善点を踏まえてよりよい企画として引き継いでいってほしい。